

いいじまち 議会だより

2026年1月15日

第113号

発行：長野県飯島町議会

文化館の管理者決まる

やがた

つなぐ文化の館へ

ホームページはどう変わる (P4)

元地域おこし協力隊員のいま 石川景規さん (P3)

町民の声を議会へ「いいじま未来トークサロン」(P20)

もくじ

- P3
元地域おこし協力隊員のいよいよ
石川景規さん

P4
総務産業委員会
令和7年度補正予算調査
陳情審査

P5
社会文教委員会
令和7年度補正予算調査
文化館指定管理者の指定
陳情審査

P6
12月定例会 本会議
議会全員協議会

P7
本会議での表決結果

3~16
一般質問

P17
上伊那市町村議会
伊南市町村議会 各研修

P18
商工会と総産委との懇談会
自治会との懇談会

P19
モニターのひとこと

P20
町民の声を議会へ
飯島みらいトークサロン
議会だよりクイズ

ここが聞きたい

町政を問う

7 議員が質問

吉川 順平 農山村地域創造事業

この事業のねらいは P8

伊藤秀明 クマ対策

出没対策は P9

宮下秀和 七久保駅舎の縮小

JRに住民説明会を求めているか … P10

坂本 紀子 **自治組織の高齢化**

どういう手順で行うのか P11

折山 誠 七久保診療所再開

9月以降の取り組みと成果は P12

浜田 稔　自治会での募金徴収

定額徴収を改めるべきでは P13

三浦 寿美子 交通安全対策

剥げたり、傾いた道路標識・カーブミラーの改修を

一般質問ができなかった議員の質問テーマ

星野 晃伸 · 堀内 学 P15

荒川みずき · 池上 明 P16

「一般質問」とは
行政財にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

元地域おこし協力隊員のいま

飯島町で地域おこし協力隊員として活躍された方に、その後の様子、議会や町へのご意見を伺いました。

けいき 石川景規さん

飯島町在住8年

地域おこし協力隊

2017年8月～2020年7月

現在は、1日1組限定の古民家宿の「nagare」(飯島町田切)、一棟貸しvilla「nagare」(中川村)、一棟貸しLog「nagare」(中川村)を経営

問 移住されたきっかけは。

石川さん 宿にできる古家を探していたころ、友人がいる飯島町に遊びにきました。その時、町役場から築100年以上の古家を紹介されました。水田に囲まれた田舎らしさに感動。ここを古民家宿にすることを決め、2017年に飯島町に移住しました。

問 飯島町で宿泊業ですか。

石川さん 私は東京都出身です。27歳の時、銀行を退職し、妻の妙子と世界一周の旅をしました。500日かけた旅の経験から、観光地でない地域で1日1組だけを泊める宿を経営したいと思いました。

問 外国のお客さんの感想に、「日本の旅で1番良かった」という声が多いですね。

石川さん 最近は宿泊者の4割が外国の方です。SNSなどで知って、世界的な予約サイトを通



飯島町田切の風景



石川景規さん(左)と妻の妙子さん

じて来られます。

日本を旅し、観光地巡りの間に訪れ、「田園風景と暮らしのあるJAPAN」を楽しむようです。田の周りがきれいに草刈りされているのに驚かれます。

問 国内での評価も高いですね。

石川さん SNSで紹介されている評価を見て、訪れる方が多いです。

家族連れ、女子旅、プロポーズのため、古民家改装に関心があるなど、それぞれの目的で泊まります。何度も来られる方もいます。食事は地元の食材にこだわっています。

観光地や温泉地でなくても、自分の「価値観」にあった宿を求める方が増えています。

問 地域おこし協力隊員としてのお仕事は。

石川さん 移住した2017年から協力隊員になりました。

仕事は、町内で作っている果物や花、物産などのインターネット販売です。飯島町を知らない方も、購入されます。驚いたのは、結婚式など

で使う花びら用のバラが売れたことです。出荷できず捨てていたバラが、商品になりました。

この仕事で、地元の方々のつながりもできました。

問 宿泊業を始め

た時はコロナ禍が広がった頃ですね。

石川さん 宿を開業したのは協力隊員の仕事が終った2020年の夏です。コロナ感染拡大で行動制限が呼びかけられていきました。そうしたなか、一棟貸し宿の人気が静かに広がりました。



伝統と今が調和する宿

コロナが明け、お客様も増え、宿泊事業として成り立っています。今年春、3軒目の宿を開業しました。

問 議会や町へ望むことは。

石川さん 町が事業をするとき、人を呼び寄せるセンスある投資をしてほしいと思います。

ホームページはどう変わる

総務産業委員会は、付託された令和7年度補正予算案調査と陳情の審査を行った。

令和7年度補正予算案

一般会計

◆総務課

問 ホームページ再構築はあるがどこが変わらるのか。

答 操作性とデザインが変わる。画面が見やすく、作る側は一つの操作ができる。

サークル活動、行事などを住民から投稿できる。

多言語に対応できる。

問 固定式大型モニターの設置場所は。

答 防災対策室に設置する。

問 親時計取替工事の内容は。

答 プログラムタイマー機能でチャイム、放送を管理する。

◆企画政策課

問 空き家改修の内容は。

答 50万円を3件と家財処分代金10万円を3件の合計180万円。

問 七久保駅の仮設トイレ設置は。

答 補正予算が可決したら設置する。

問 光をそそぐマイホーム取得奨励金は前町長の政策の延長か。

答 政策の延長ではなく、固定資産税10年間を補助する政策。

問 申請者が町外に転出した場合には返済するのか。

答 返済してもらう。

問 公共施設等整備基金繰入金2500万円の使途は。

答 千人塚東屋工事金・こども第三の居場所の建設分。

◆産業振興課

問 農業振興補助金の内訳は。

答 ドローン購入の半額補助、未来につなぐ農家応援事業5件追加分。

問 計画変更概要書作成業務とは。

答 県営事業原井用水、JR関係事業費が1割増となるため。

問 土地改良換地土とは。

答 本郷島河原の土地改良法により計画した土地を確認する資格者。

問 委託料13000円は。

答 道の駅花の里いいじまに設置したAEDのリース料金。

問 新増設支援事業とは。

答 町内事業者が1000万円以上増設した場合の固定資産税分。

◆建設水道課

問 年により融雪剤が不足するときがあるが。

答 不足がないように手配している。

問 地籍調査の概要是。

答 1年目は測量・くい打ち、2年目は図面作成・閲覧、3年目は登記登録。40年かけて行ない令和16年完了予定。

問 山林の地籍調査の計画は。

答 ドローンで測量し、境界を図上に作成する。地権者の要望があれば現地立ち合いする。

問 構造物補修工事はどこか。

答 岩間の道路雨水の対応。赤坂の道路整備。日曾利橋の欄干補修。その他道路補修3カ所分。

水道事業

◆建設水道課

問 消火栓移設工事の場所は。

答 上通りの芝宮神社前。

下水道事業

質疑、特になし。

陳情

●「消費税5%以下への減税を求める」

提出者：上伊那民主商工会

参考人：滝澤孝夫氏

賛成 消費税減税は効果的な物価高騰対策だ。また、国内消費を活発にする。

反対 企業は10%、8%の税率に慣れてきた。

|採|決|

賛成2 不採択

●「インボイス制度の廃止」

参考人：上伊那民主商工会

滝澤孝夫氏

賛成 小さな業者には大きな負担である。負担を軽減し、地域の活性化につながる。

反対 インボイスは適正課税のために導入した。売上1000万円以下は非課税、税率2割の軽減特例がある、電子化もされており必要な制度。

|採|決|

賛成3 採択

文化館運営のあり方は

社会文教委員会は、付託された令和7年度補正予算案調査・指定管理者の指定と陳情の審査を行なった。

令和7年度補正予算案4件

|採|決|

全員賛成

「飯島町文化館の指定管理者の指定」について

令和7年12月10日、教育委員会の丸山係長から説明を受けた。

|質|議|

問 指定管理料の算出根拠は。
答 管理経費は今までと変わらない。人件費としては増えることになる。過去に文化館の指定管理を提案した時は否決となつた。その時は臨時職員2人でスタートし、今は1人で管理等を行っている。

指定管理を提案するにあたり、今回活性化を含めたコーディネーターとして人件費を192万9千円増やし2人駐在してもらう。生涯学習センター職員3人が社会教育の実践として施設に駐在する。大きな工事は今までどおり町が行う。経費は明確に区別してやっていきたい。

問 文化館の利用料金の変更はないのか。

答 今後4月までに協定書を結ぶことになるが、利用料金は条例の範囲内。高くなる事は無い。

問 「文化サロン」との関係は今

後どうなるのか。

答 「文化サロン」は任意の文化団体で、事務局は教育委員会で担当してきた。当面は今まで通りの方法で行っていく。

|討|論|

賛成 過去は、指定管理に出すことに反対してきたが、今までの教育委員会の取り組みを見ていて、これ以上の活性化は難しいと判断した。

また国民スポーツ大会を控え、数年は教育委員会が動けないことを考えると、アクターズに任せたほうが良いと思い賛成する。

|採|決|

賛成5 採択

陳情

「診療報酬・介護報酬及び障がい、福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める」

提出者：長野県医療労働組合連合会・長野県社会保障推進協議会

参考人：金田恭子氏

説明：1994年以降、国の診療報酬はマイナスが続いている。

2024年の職員等の処遇改善加算で一時的に改善されたが、物価高騰に追いついていない。職員の離職で病院が回らない・介護施設が倒産するところも出てている。物価高騰分を含めて10%以

上の引き上げをしてほしい。

問 賃金が安くて人材が集まらない事はあるのか。

答 現在、専門的な養成機関で定員割れを起こしているところもあるようだ。他業種より賃金が低い。介護職や病院職の中ではより賃金の高いところへ移動しているようである。負のスパイラルへ入っているように思う。夜勤は月5回から6回だが、連続18時間勤務となると介護の質が低下し、本人も燃え尽き症候群になる。

問 辞める人の傾向は。

答 賃金体系により若い人が多い。10年位で辞める人もいる。

|討|論|

賛成 医療も介護も現場で働く人々が少ない状況では、次の世代も育たず、地域の安全も守られないため、賛成。

賛成 昭和伊南総合病院も赤字と聞いている。赤字だからといって現場で働く人たちの賃金を安くはできない。国は賃金を上げて地域の医療現場を守って欲しい。

|採|決|

賛成5 採択

認可外保育施設の町独自の補助を評価

12月定例会は、12月5日から17日までの13日間開催。

人事案件1件・条例案件5件・一般会計補正予算2件・特別会計補正予算6件・陳情3件を審議し採択。議員発議4件を採択した。

★町固定資産評価審査委員会委員に宮下好矢氏の再任 **承認**

★国の法律改正にともない5条例の一部改正 **採択**

★令和7年度水道事業会計補正予算(専決)

将来の財源確保のための投資有価証券(長野県債購入) **採択**

★国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険3特別会計の令和7年度補正予算案 **採択**

★令和7年度水道事業会計補正予算・令和7年度下水道事業会計補正予算 **採択**

★損害賠償の決定について
町道にあるグレーチングが原因
の交通事故に対する損害賠償
(保険で処理) **承認**

★町文化館の指定管理者指定について
指定管理者に「特定非営利活動
法人アクターズゼミナール伊那
塾」を選定 **承認**

★令和7年度一般会計補正予算
(第4号) 7020万円の審議。

賛成討論 認可外保育施設への
町からの補助を評価する。
採択

★追加議案 一般会計補正予算
(第5号) 1480万円の審議。

内容: 庁舎内空調設備の不良箇所等の部品交換工事と設備更新の調査・実施設計業務の予算。

問 なぜ、この業者にしたのか。
ダスト感染対策のクリーニング
をどうしているのか。

答 25年前の庁舎建て替え工事の一環だが、業者選定の記録は見つからない。修理するが、空調設備の感染対策は設計士と相談する。

賛成討論 空調の修理は早急にして欲しい。より良い設備の検討を願う。
採択

陳情審議 3件

★「消費税率5%以下への減税を求める」陳情

賛成 物価対策として必要。

反対 社会保障が維持できない。
賛成 6人 採択

★「インボイスの廃止を求める」
陳情

賛成 個人業者に価値を生まない負担を強いいる。

反対 零細事業者も払うべき。
簡易な制度もある。

賛成 9人 採択

★「診療報酬・介護報酬及び障がい者福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める」陳情

賛成全員 採択

意見書審議 4件

★「診療報酬・介護報酬及び障がい者福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める」

賛成全員 採択

★「消費税の減税及び必要な財源確保を求める」

賛成 7人 採択

★「広く国民の意思を反映した衆議院議員選挙制度の実現を求める」意見書

賛成 定数を減らさず、国民の意見を反映する制度にすべき。

反対 現行の制度で民意の反映はできている。

賛成 9人 採択

★「インボイス制度の見直し及び廃止を求める」意見書

賛成 9人 採択

議会全員協議会

町側から下記の報告があった。

★町道での交通事故の損害賠償

★文化館の指定管理者選定

★ホームページ再構築業務

★地域交通協議会設置と地域交通計画(案)の策定

★JR七久保駅防災トイレ整備事業に係る説明会の報告

★柏木運動場建物解体に係るアスベスト飛散

12月定例会 審議議案と議員の賛否

上程議案・概要・結果 賛成：○ 不賛成：×	結果	池上明	坂本紀子	伊藤秀明	宮下秀和	三浦寿美子	荒川みづき	折山誠	堀内学	星野晃伸	浜田穎穂	吉川順平	宮脇寛行
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件													注
固定資産評価委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定及び一部改正													
税条例等の一部改正(専決)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職の旅費に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の旅費または費用弁償の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度 補正予算													
水道事業会計(第2号)専決	1,000万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計(第4号)	7,022万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計(第2号)	154万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計(第2号)	232万円減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計(第2号)	7,735万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計(第3号)	268万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業会計(第2号)	371万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計(第5号)	1,480万円増	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約の締結など													
損害の賠償額の決定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
文化館の指定管理者の指定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願・陳情													
消費税率5%以下への減税を求める		○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×
インボイス制度の廃止を求める		○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の10%以上の引き上げを求める		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書													
診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬の10%以上の引き上げを求める		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消費税の減税及び必要な財源確保を求める		○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×
広く国民の意見を反映した衆議院議員選挙制度の実現を求める		○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
インボイス制度の見直し及び廃止を求める		○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○

注)議長は議事進行のため賛否表明はしない



吉川 順平

農山村地域創造事業

この事業のねらいは
農業はもとより
地域課題が解決できる
仕組みづくりの構築

町長

事業化の経過

問 株式会社 和郷に業務委託した理由は。

町長 公募により株和郷1社のみ応募。農業の新たな形に挑戦している事業展開を評価した。

問 本年9月から来年の2月までの間、9団体と36名のヒアリングが実施されているが、この目的と今後の方向性は。

産業振興課長 地域農業の実態を把握する為に、担い手農家・法人及び地区営農組合の現場の声を聞き、地域の課題解決に向

【企画振興部No.14】

R7当初予算案 8 箕く農山村地域創造プロジェクト
57,430千円

地元資源の魅力を最大限に活用し、日本・世界で類のないレベルにまで磨き上げ、オンラインの「輝く農山村地域」の創造を目指すため、飯綱町・根羽村・飯島町に対し、人的・財政的支援や地域づくり専門家による伴走支援などの取組を実施します。

新たに飯島町を選定し、R7年度から支援スタート

【環境と共生し多様な主体が参画する先駆的な農村へ】

- ・地域ぐるみの農業体制をアップデート
- ・多様なアグリビジネスの創出と多分野との連携
- ・ミヤマシジミを中心とした生物多様性の保存と環境保全型農業の推進
- ・地域内外の多様な者が関わり新たな価値の創出

これまでの取組実績（R6年度）

○飯綱町・根羽村と共に今年度から本格的に取組スタート

飯綱町 【核となる地域資源：りんご】
 -「人も地域も輝く日本一のりんごの町」に向け町民を巻き込みワークショップ自ら指す「品種・品質日本一」「体験メニュー日本一」「りんご愛日本一」
 -「信州いいづるりんご学校」の農業体験を核とした新たな関係人口の創出
 -多品種栽培した町産りんごブランド化に向けた取組(各種フェア開催等)
 -りんご農作業による民間企業社員のストレス軽減効果検証、企業の「健康経営」×授農・地域貢献への参加を促進(参加企業5社)

根羽村 【核となる地域資源：森林】
 -森林をフィールドした企業等との連携・関係人口拡大(シナジー・時計(株)、JR東海グループ等)
 -機能別森づくり(里山、生産、導遊)に関する所有と利用の実態調査
 -「森とまちの流域学」講座開催(村民理解と機運醸成)
 -森林資源を生かした経済価値創出に向けた取組(木の糸、Hut)

R7年度の主な取組

飯綱町
 ◆ふるさと納税を活用したプロモーションによる関係人口の創出
 ◆市民提案による「日本一のりんごの町」実現に向けた取組展開
 -町のりんご関連情報を探してアピール
 -多品種栽培の強み、海外品種等による地域ブランド確立に向けた取組
 -町民・ブレイヤー等の参画・提案に基づく取組の事業化

根羽村
 ◆流域の森林資源で稼ぐ商品開発、機材等の整備
 ◆売上の一部を森林保全に還元する仕組みの構築(ローカル認証制度)、森林ソーニング調査
 ◆「森とまちの流域学」の開催、プロジェクト拡大のためパートナーシップ開拓

飯島町
 ◆持続可能な農業、農村を実現するため町民との対話を基本とした
 ありたい姿の明確化と、その実現に向けた取組展開

(出所) 長野県企画振興部地域振興課 令和7年8月20日付け議会全員協議会企画政策課資料

けて取り組んでいくことが目的。
問 このプロジェクトの具体的な業務内容とスケジュールの情報発信の提示は。

産業振興課長 ヒアリングを経て、課題の整理・分析・評価を行い、飯島版農業体制の確立に向けてロードマップを作成し、ホームページ等で情報発信していく。

問 県組織を挙げた支援に町への県職員の派遣は。

副町長 県庁・上伊那地域振興局の職員による支援チームからアドバイスをもらっている。来年度から職員1名の派遣を県と調整中。

問 「関係人口創出・移住定住の推進」の具体的な取り組み方針は。

町長 各種体験を通じて移住・定住の推進と新規就農者を確保する。具体的には、情報発信や相談窓口・サポート体制の充実・交流の場の創出・仕事や暮らしの支援等を掲げている。

問 「(仮称)あり方検討委員会」が立ち上がったが、構成メンバーと今後の活動は。

町長 今年9月立ち上げた。構成は、営農センター・農協・営農組合・女性農業者・認定農業者など。

地域複合営農の課題、多様な者が関わる農業体制について協議していく。

問 現在の進捗状況は。

産業振興課長 県の信州6次産業化推進協による加工グループへのヒアリング、(株)和郷からのヒアリング。加工施設の視察をおこなった。

今後は、加工品の評価を目的としたクラウドファンディングを実施していく。

クマ対策

出没対策は

広域で対応する 町長



伊藤 秀明

問 町内でもクマが出没している。防護柵がない所の対策はあるのか。

町長 出没時には防災無線で知らせている。日常生活圏内にいた場合は緊急銃猟を可能としている。出没マップをホームページで公開している。

予防はアプリ活用で情報公開している。クマの生態の学習会も行っている。

クマ監視用センサー・カメラ設置。出没個所は合同パトロールを行いクマの緩衝地帯を設け寄せ付けないための助言を実施している。河川敷の監視活動も重視している。

クマの出没原因の究明や頭数把握など兵庫県の取り組みを参考にしたい。

ガバメントハンター（公務員ハンター）は広域的な対応が必要なため上伊那、伊那谷で行っていく。



クマなど大型野生動物対策の防護柵

町の危機管理は

問 不祥事件の再発防止策は。

町長 備品倉庫の整理整頓を行い、貸出簿に使用目的を明確に記入する。防犯カメラを設置する。

問 危機管理の講習を行ったのか。

町長 令和8年2月上旬までに研修をする。

問 内部通報制度があるが現状はどうか。

町長 今回が初めてだ。

問 給食センターの避難訓練は行っているのか。

教育次長 昨年度から行っている。今年度は春休みに行う予定。

ウェルビーイングについて

問 何を目指しているのか。

町長 ウェルビーイングは、人間らしさ自分らしさの表現。すべての人が健康で暮らせる福祉の構築・地域と繋がり安全安心・多様性の尊重・健康福祉の充実・暮らしの安全・教育生涯学習の充実などを目指す。

地域コミュニティーの活性化と居場所づくり・雇用関係の整備・環境と資源の両立・町全体の質を高め、お互いの尊厳を目指した町づくりをしていく。

つなぐ力でだれ一人とり残さないまちづくりを目指す。

問 学校におけるウェルビーイングは。また校内における地域の人の日常的な居場所の設置とは具体的に。

教育長 教室が使えるならば地域の人がそこに集って学んだり共同作業をしたりしたい。

地域から子どもの声が聞こえなくてさみしいと耳にする。学校に来れば子どもの声が聞こえる。そのようなごちゃまぜの寄せ鍋学校を作りたい。

問 中学校の新しい制服は。

教育長 今年度、2つの業者が来て生徒が試着などした。今の生徒は新制服が着用できないが新制服の決定に取り組んでいる。保護者の意見も聞きたいた。

来年度は生徒や保護者と検討する機会を設け、プレゼンテーションをする。令和9年1月に業者を選定し、飯島中学校70周年記念事業にお披露目したい。令和10年度から新制服着用を考えている。

高齢者のゴミ出し

問 町の対応は。

答 ゴミ出し支援の実績は11件、ゴミでいっぱいの部屋を片付けた事例もある。介護支援制度利用の件数は年間19人。



宮下秀和

七久保駅舎の縮小

JRに住民説明会を求めて
いるか

副町長
求めている

問 JR東海は七久保駅を床面積2m×4mの駅舎に建て替える計画をしている。

利用者や住民の声をアンケートなどで聞いた。

『雨風をしのぐ際に狭い。子どもを連れて行くので広い方が助かる』

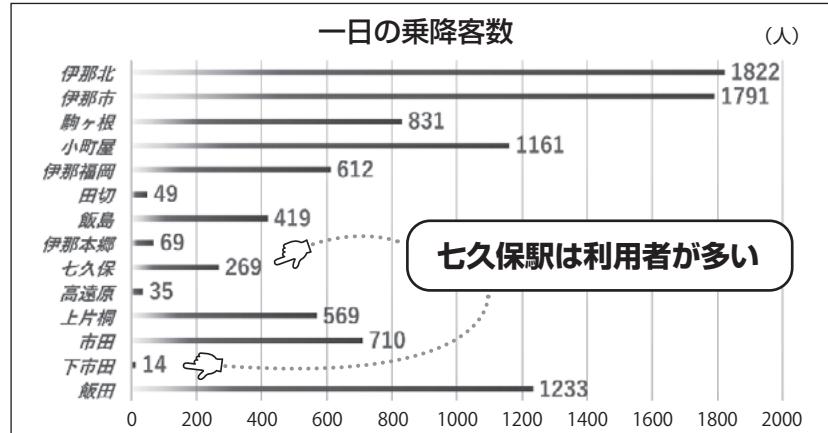
『駅舎がこのサイズになるにせよ、それ以外にも雨を避けられる屋根が必要』

『中学生や高校生などが同じ時間帯に集中するので、中に入りきれない』

『飯田線はよく遅れる。雨や雪の日でも待てる建物が必要』

『飯田方面のホームにも、雨風をしのげる待合室がほしい』など切実な声が寄せられた。

JR東海が示した駅舎は現在の高



森町にある下市田駅。1日平均利用者数は14人。七久保駅は269人だ。町は七久保駅利用者の安全が確保できると考えるか。



JRが計画する駅舎

中は8m²でベンチが3つ

副町長 町として様々な要望をしている。JR東海は安全と考えて計画しているようだ。

問 JR東海の2024年度の売上高は1.8兆円、4584億円の黒字で過去最高だった。この利益を株主還元するため、1100億円の自社株買を発表している。株主には多額の利益を還元しているのに、利用者のための設備にお金を使っていない。

町は、JR東海に対し駅舎に関する住民説明会を開くように求めているか。

副町長 求めている。しかしJR東海は住民説明会をしないと言っている。

物価高騰対策は

問 町独自の予算でも物価高騰対策を急ぐべきだが。

町長 政府の補正予算が決まり次第、急いで対応する。

多国籍児童の保護者支援

問 保育園の外国籍保護者への対応は。

教育次長 保育士、保健師などが保護者別に対応している。通訳者や翻訳アプリを使っている。保護者の職場や地域でボランティアの協力も求めている。

小学1年生の不登校対策

問 子どもが小学校に慣れるために、保育園と小学校の連携をどうしているか。

教育長 年2回の保育園と小学校連絡会で、先生方が事前に児童ごとに対応している。

小学校の先生が保育園の参観に行き、子どもたちの様子をつかんでいる。

昨年度は、七久保小で保育園の年長児と1年生が生活科の授業をおこない、入学前から学校の楽しさを知ってもらう取り組みをしている。

問 不登校対策として、小学校低学年の通知表廃止は効果があると考えるか。

教育長 通知表廃止で不登校が減るとは単純には考えない。通知表は学校長の判断でなくせる。児童を励ます評価について、低学年だけでなく、全学年で今のままの通知表で良いのかを考えている。

通知表を含め、各学校の先生方の意見も聞きながら、来年度1年かけて検討していきたい。

自治組織の高齢化

どういう手順で行うのか

負担軽減が出来る所から行う 町長



坂本 紀子

問 自治組織のあり方アンケートが始まったが、年齢と性別の記入はないのはどうしてか。

町長 アンケートの目的は地域の課題解決の糸口とするため。

企画政策課長 自治会加入世帯にお願いし、匿名で回答率を高めたいので記載しなかった。

問 自治会活動に参加したくない人の意見を聞く欄がないが。

企画政策課長 自治組織あり方検討委員会の議論を踏まえ検討していきたい。

問 南箕輪村は3年計画の1年目に行政側が改革し、2年目に持続可能な自治会検討委員会を作った。3年目は外部団体から自治会への委託を検討。当町では、どういう手順で改善していくのか。既に本郷第3自治会では農業委員会・民生委員の選出に苦渋しているが。

町長 組織の統廃合や見直し・各種委員会等の選出区分やあて職の見直し・会議等への出役回数の削減・事務手続きの簡素化・上部や外部団体への負担軽減の働きかけなどを行っている。自治組織あり方検討委員会を立ち上げているが、早急に実施していく。

問 各区にある地域づくり委員会は公民館活動の一環ではあるが、担い手不足であり町内1つ

にならないか。

町長 職員の自治会担当制・地域づくり委員会は平成17年2月に自立の町づくりを選択した以降の取り組み。現在町出身でない人も多く、仕事の負担軽減も言われている。

公民館の活動は、教養の向上・健康の増進・生活や文化の振興・社会福祉の増進・学習活動の支援や集いの場としてやっていくべきだと思っている。

地域づくり委員会を公民館的に運営していくのはあまり良いことではない。地域づくり委員会は4区にあるが、自治会・公民館・育成会・各種団体から構成され、様々な立場の住民が集まり協議し、地区単位の地域づくりや住民自治の推進役として担ってきた。全町的に1つよりは地域に根ざした活動として公民館活動を支援していくほうが良いのではないか。

役員のなり手不足なので、総合的に検討していくことが自治組織あり方検討委員会設置の目的。

問 公民館の活動と地域づくり委員会の活動は活動としては違うと言われたが、どう違うのか。

町長 地域づくり委員会の活動は、地域の課題を吸い上げて、それを解決していくための委員会だったが、なかなか機能していない区もある。自治会・区も含め、地域の課題を解決してい

けるような1つの地域の運営組織として一本化していくべきではないかと考えている。

地域の除雪

問 新屋敷自治会から除雪の担い手が減り町にできないかと9月に陳情したが、11月広報でできないことを知った。対応が遅いのではないか。

副町長 各自治会の除雪では感謝している。文章では時間が掛るので、口頭では困難であると答えている。

他の自治会からも要望があるが、除雪機械の維持・作業員の不足等で、全ての事業者がこれ以上は対応できない現状。降雪が予想される時は幹線道路付近の駐車場に車を止めて、翌朝そこから出勤する対応も考えなければならない事態である。

自治会には今後も除雪機等の購入補助もしていくので活用して頂きたい。

▶その他の質問

- ・環境美化のための定期的なパトロールを



折山 誠

七久保診療所 再開

9月以降の取り組みと成果は

オンライン診療の
取り組みを検討

町長

問 医師確保について、9月以降4半期の取り組みと成果は。

町長 9月以降、オンライン診療の研究を始めた。10月23日に先進地の壳木村を視察してきた。

引き続き、診療所再開に向けて様々な可能性について検討を進めしていく。

生活弱者対策

問 福祉タクシー券を町外の駅から町外医療機関までなど、受診時に町外タクシー利用を可能にできないか。

副町長 住民や民生委員からの要望もあり、今後の大きな課題と認識している。

町民の利便性と町内タクシー事業者の経営に対する影響も視野に、公共交通機関の在り方を含め、町交通会議の中で検討していく。

問 国の物価高騰対策地方交付金の確定を前提に、迅速な施策の準備は進んでいるか。

特に低所得世帯が冬を乗り切るためにには交付決定前の準備など、早急な対応が必要と考えるが。

町長 各課で何ができるか取りまとめている。国の交付決定次第、速やかに対応する。生活に困っている人の支援・手続きの簡素化も検討する。

農地保全・起業支援策

問 移住支援と荒廃農地拡大防止の観点で、移住者が農地を取得した場合の中古農機具購入補助などの支援を求める。

企画政策課長 農機具補助金等の直接的な移住者支援は今後検討する。

問 移住者が古民家を購入し、宿泊業など事業を立ち上げる折の支援を求める。

産業振興課長 役場・商工会に相談してもらえば、様々な支援があるので、活用して欲しい。

小水力発電の 流砂処理研究に支援を

問 河川や水路を活用した小水力発電所建設の際に課題となる流砂処理を研究する町民がいる。大学や町内企業との連携など行

政の支援を求める。

住民税務課長 流砂処理の研究は、今後の水力発電事業に有効な取り組みであり、県企業局や大学等との仲介、また実証実験のサポートも含め全力で支援していく。

クマ対策は

問 緊急的な対処のための獣友会との連携や支援はできているか。

産業振興課長 駆除対策に対する金銭的な支援のほか、わなの配布など物的な支援を行い、連携して取り組んでいる。

問 共生のためのゾーニングの取り組みを求める。

特に森林奥地へのクヌギ・クルミなど広葉樹種の植栽を求めるが。

町長 共生のための豊かな森をつくるていく。ゾーニングについては広域対応が必要であり、上伊那広域連合で研究している。

自治会での 募金徴収

定額徴収を改めるべきでは

任意の寄付であり
個別に徴収すべき 町長



浜田 稔

問 町民から『自治会費と併せて各種募金が一方的に定額で徴収されている。寄付者の意向が尊重されていない。改善して欲しい』との相談があった。

南箕輪村では、来年度から区に組織的募金集金を求めないことを見切った。

町長の見解は。

町長 「自治会運営の経費と外部団体への支出を切り分け、自治会運営をより分かりやすくする。募金は任意である」という考え方を町内に伝えている。

自然エネルギーは 誰のものか

問 近年、町の関係する再生エネルギーが近隣自治体の脱炭素事業として報道される事例が目立つ。町内の資源を利用して再生エネルギーに努めているにもかかわらず、町へ様々な還元が

少ないと感じる。

実例として、中央アルプスこまかっぱ発電所の中田切川の右岸整備には町も関わっているはずだが、駒ヶ根市と県企業局の事業として進められている。町は名前さえ示されず「駒ヶ根市を流れる中田切川」と記されている。

町長 県の事業であり、発電所の取水口は駒ヶ根市に属している。

問 越百のしづく発電所は町内を流れる与田切川のエネルギーを利用した水力発電所だが、全量がエプソン伊那事業所と県内各事業所で消費されることになったが実態は。

町長 発電は県の事業で、町は関われない。(自然エネルギーは電気代が高めであり)町内からは応募がなかった。

町内製造業の支援

問 上伊那は、県内でも異色の製造業に支えられた地域であり、財政や人口の縮小均衡を跳ね返す大きな可能性を持っている。新たな製造業支援策は具体化されているか。例えば、出願特許の維持費補助はどうか。

産業振興課長 町の補助制度としてできるか検討していく。

問 効果指標として、販売高と経常利益の伸び、企業間連形事業の増加、新規市場への製品展開などを提案するが。

産業振興課長 町の支援とその効果の検証が必要だ。熟慮して検討していく。



越百のしづく発電所



三浦 寿美子

交通安全対策

**剥げたり、傾いた道路標識は
カーブミラーの改修を
順次、計画的に
更新していきたい**

副町長

問 日影坂を上った先の荒田線は、踏切まで8本の道路標識の塗料が剥げていてよく見えない。飯島駅南の踏切の東西にある交差点の標識も剥げていて見えにくい。山久の火の見櫓のある三叉路のカーブミラーは傾き、車からは景色しか見えない。このような状況を認識しているか。

町長 見えにくくなっている標識があるのは事実。調査し不具合のところは直したい。春先には道路標示を新しくする。カーブミラーは自治会の要望で



倒れたカーブミラー

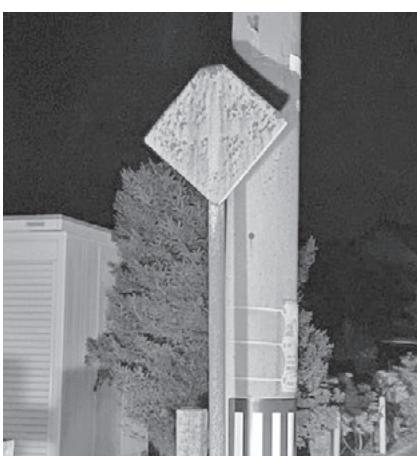
現物支給となっている。

副町長 カーブミラーは年度はじめに自治会長に説明し、要望を受けている。要望のあったカーブミラーは全て改修している。見えにくくなっている道路標識は順次計画的に更新していく。

問 岩間の交差点は停止線や道路標示が消えている。交通事故が起きている交差点である。



岩間の見えにくい「トマレ」の道路標示



荒田線の見えにくくなっている道路標識

道路標示がはっきりしていれば防げたのではないか。早急に改修する必要があるが。

副町長 町道であるので、早急にできるところは対応したい。

学校給食費無償化

問 学校給食費の軽減は継続されるのか。

教育長 子育て支援として重要な課題であり、8年度以降の実施計画では現在の3学期分無償から段階的に半年分にしていく方向で検討している。

問 完全無償化は。

教育長 義務教育の無償化は、法律では授業料等が対象で、給食費は保護者負担が原則である。給食費の無償化は持続可能な制度でなければならない。国・県の補助金の動向を見ながら慎重に財政判断をしたい。

在宅介護ができる環境を

問 令和6年度、町内で約400人が介護認定されている。一人暮らし、老々世帯でも訪問介護を受けられる環境はあるか。

副町長 訪問介護を支える事業所が不足している。訪問介護は町外の事業所も利用している。これからも利用者が増えると想定されるので注視していきたい。

問 新潟県村上市では独自の支援制度で訪問介護事業所を支援している。町内に訪問介護ができる環境整備が必要。検討を。

副町長 環境の違いや、人材不足もある。事業所の実情・課題の把握に努めたい。国の動向を注視しながら、可能な支援を検討したい。

今回の12月議会で質問を準備しながら、急な体調不良で質問できなかった議員が4名います。
その質問内容を通告順に紹介します。

星野 晃伸 議員

1. 町の将来計画について

1-1 町を活性化するにあたり、農業・企業・観光を三本柱とした場合、将来的に何に重点を置くのか。

1-2 令和7年11月の全員協議会で町長より優良企業から町の活性化に向けた様々な提案がされたと報告があったが、その中で参考になったものは。

1-3 町内には、わら細工やクロモジなどの資源が有る。有効活用するために財政的支援をする考えはあるか。

2. 中学校不登校生徒について

2-1 令和7年9月の一般質問で、中学校不登校生徒数について教育長から回答があった。その後の変化は。

2-2 不登校とならないための具体的な対策はあるか。

2-3 「一般社団法人わレらの学校」を承知しているか。

3. 中学校部活動の地域移行の課題。吹奏楽部の件を問う

3-1 吹奏楽部の部活地域移行(クラブ化)を進める中で、教育委員会担当・学校関係者・保護者・生徒間で、誰もが方向性が見えていないと感じる。そのため課題が多く、不安や懸念が生じている。今後の対応を含め教育長の考えを問う。

3-2 現在、部費・保護者会費・町公費の会計と複数管理している。町外者の中川中生徒は、町公費会計の関係から、「クラブのみ加入者」としての受け入れも難しい。この課題を解決するための考えは。

3-3 現在、コンクール前だけ外部指揮者をお願いしている。休日は、外部指導者だけでは校舎管理の責任を負えないため、顧問の先生も出勤している。地域移行を進める場合、町採用の指導者の配置も含めどう考えるか。

3-4 町にゆかりのある「フルート製造会社会長」は音楽大学や音楽関係者に太いつながりがある。それを生かして指導者を派遣、紹介してもらうことを提案するが、教育長・町長の所感を伺う。

堀内 学 議員

1. 子どもの生育環境を問う

1-1 30年前の子どもと比較して、身長や体重が向上しているものの体力や運動能力が低下している現状をどのようにとらえるか。

1-2 一定の体力や運動能力を身に付けるためには、学校教育の環境で足りているのか。

1-3 下校時間になった時に帰宅せずにグラウンドで遊ぶことができないと令和7年9月定例会

にて答弁があったが、その後変化があったのか。

1-4 小学生の少年スポーツ団体への参加は、5年前と比べてどうなのか。

1-5 健康な体と自己肯定感を高めるためにも少年スポーツ団体への加入を積極的に案内すべきだと考えるが。

2. 地域のスポーツ環境を問う

2-1 将来の人口減少・高齢化を見据えた町内グラウンドの方向性をどのように考えているのか。

2-2 町内グラウンドは、照度の問題で夜間の利用が難しい状態となっている。町民グラウンドを夜間の使用ができるように早急に対応するべきと考えるが。

2-3 中学校グラウンドの土を改めて整備することに対して要望がないか。

2-4 本郷上運動場を生物多様性のために利用するとのことだが、その後の進捗と管理者はどうなっているのか。

次のページに続く▶

荒川みづき 議員

1. 飯島町の水について

1-1 移住者からすると、水源が町内に存在しているのに水道料金が高いと感じる。理由を問う。

1-2 洗剤・石けん・農薬の使用は下流への配慮が不可欠である。自然の摂理から巡り巡って町へ戻ってくることを踏まえて日々使用するものを選ぶ大切さを町はどう考えるか。

2. 化学物質過敏症について

2-1 強い香りによる体調不良について保育園、小中学校で一度アンケート調査をするのはどうか。知らない人が多いからこそ、起こりうる対応のズレに備えて丁寧な教育、周知が必要だと感じるが。

2-2 発症する前に町としてできる事は何か。

3. クマ対策について

3-1 町内でのクマの出没回数、被害の状況は。

3-2 町としてクマなどの大型野生動物を人里に引き寄せない対策＝農作物を屋外に放置しない、藪を切り払うなどの取り組みはどのように実施しているか。

また、生態調査用の監視カメラの設置はあるか。子どもたちにクマ鈴の配布はどうなっているか。

3-3 防災無線等によるクマ出没の告知にあたり地名が通称名であり、旅行者（キャンパーなど）、移住者、外国籍住民には分かりにくい実態がある。改善する考えは。

3-4 役場内に公務員ハンターの育成や、クマ対策に特化した地域おこし協力隊の募集、集落支援員を導入するなどの取り組みを提案するが。

池上 明 議員

1. エーコープ飯島店閉鎖後の対応について

1-1 令和7年9月の一般質問でエーコープ飯島店の閉店後の動きを聞いたが、その後は。

1-2 買い物弱者への対応として、スーパーを誘致することが困難である現状を踏まえた上で今後の具体的な対策を伺う。

1-3 今後の対策として買い物弱者への支援強化にどのような方策を検討しているか。また、具体的なスケジュールや予算、実現可能性について問う。

1-4 買い物弱者が確実に増えており、それに対応する政策が必要である。長野県の過疎地区では、「公設民営」のスーパーを作り買い物弱者の対策を行っている町村もある。当町にあった規模とやり方で「公設民営」による食料販売店の開設を進める計画を行うことは可能と考えるが。所見は。

2. 飯島駅前の活性化について

2-1 飯島の顔である駅前及び町中を活性化すべきと思う住民が23名集まり「いいじま未来トークサロン」という検討会議を6月末に結成した。構成会員は男性16名、女性7名、年齢層は30代から70代。月2回ほどのペー

スで会議を開き、計画を立て始めた。

魅力ある町の顔を作るため自分たちの考え方や想像だけでなく参考事例に学び、「より良き計画」を策定するためこの「飯島未来トークサロン」への事業予算化を要望するが。

3. 駅舎及び駅周辺の活性化について

3-1 駅舎は、ただ格好が良い建物を建てるばかりでなく「飯島らしさ」を取り入れることができればと考えるが見解は。

3-2 駅舎内に歴史を紹介できるなど魅力ある展示場・食品・特産品の販売場・チャレンジショップ機能をもたせたプレストラン兼加工場などが整備されれば魅力ある施設として住民が利用できると考えるが所見は。

4. 田園風景を生かした町づくりについて

4-1 町の活性化策をすすめるにあたり、「飯のまち」として月1・2回程度の「米と関連した市場」を開催することを提案するが所見は。

4-2 自然豊かな飯島、田んぼ景観が際立って美しい町の特徴を全世界へ発信すべきと感じたが所見は。

4-3 地元のお米や特産農産品を集めた仮称として「二つのアルプスが見守る飯島ミヤマシジミフェスティバル」のような唯一無二の農業イベントを開催し、町内外から人を呼び込み、地域のにぎわいを創る活動を提案するが所見は。

飯島町議会議員は10月から12月にかけて、各地で開催された議員研修会に参加。これらの研修は、他自治体の先進的な取り組みや地域課題への対応を学び、今後の議会活動に生かすことを目的としたもの。

上伊那市町村議会議員研修会



講演する小口良平氏

10月3日に、辰野町民会館で開催。8市町村の議員と理事者が一堂に会した。

講師の小口良平氏による講演で、自転車を活用したまちづくりについて紹介。

辰野町の空き家調査や商店街巡りにレンタサイクルを取り入れる事例など、移動手段を工夫することで地域の魅力向上や健康・産業振興につなげる視点を学んだ。

伊南市町村議会議員研修会

10月15日に、宮田村・駒ヶ根市・飯島町・中川村の4市町村の議員が集まり、宮田村民会館で研修を行った。

講師として宮田村長の天野早人氏から、元議會議長として進めてきた議会改革の取り組みについて講演があった。全議員が活動内容を分類し、時間を記録・集計して可視化する手法を紹介。議員活動の実態を共有し、議会全体の意識を高める工夫として印象的だった。

また、グループ討論では、駒ヶ根市議会から市内店舗や介護施設など庁舎以外で常任委員会の開催事例が紹介された。議員が地域に出向くことの意義を改めて考える機会となった。



情報交換する市町村の議員等

伊南市町村議会議員合同研修会

11月21日に、「新病院建設に向けた病院経営を取り巻く現状」をテーマにした研修会が駒ヶ根市役所で開催された。

病院を取り巻く厳しい経営環境や今後の課題について説明があり、続く質疑では各市町村の議員・理事者による活発な意見交換が行われた。



現状を語る村岡紳介病院長



講演を聞く市町村の議員・理事者

商工会と総務産業委員会との懇談会

10月29日に商工会主催で懇談会が開催された。議会は4月、商工会は6月に改選があり双方が新任の自己紹介を行なった。商工会館であらかじめ各議員が、「駅前の今後」について考え方を述べるよう求められ、以下の発言があった。

- 池上** エーコープ飯島店が閉店し買い物弱者の発生が懸念されたが、現実はそうでもなかった。飯島駅舎改築に伴う、新しい構想が必要である。
- 宮下** 飯島駅舎はJRの責任で改築し、飯島町のインフラをまもる要求をしていかなければならない。
- 浜田** 飯島は発展する力がある。特に工業関係には高度な独自の技術がある事業所があるので、継承さえうまくいけば伸びる余地はある。
- 堀内** 商工会が飯島町をけん引し、事業者がお互いに手をつなぐことが必要である。そのまとめ役をしてほしい。
- 伊藤** イベントは多いが単発である。広がりを大切に集客すれば長続きする。目的を持ち飯島の良さを発信していきたい。

自治会との懇談会

赤坂 8月7日 池上議員

- ・道路にはみ出した木の撤去。水路の整備。
 - ・自治会ゴミステーションへの不法投棄。
 - ・家屋への土砂流入。
 - ・土手草の放置。
 - ・私有地の樹木対策。
- 以上の現状説明文書を受け取った。

新屋敷 9月13日 坂本議員、宮下議員

町道の除雪をできる人がいなくなった。町で何とかならないか。
現地を調査し、町にも申し入れる。

本郷第3 10月26日 坂本議員、伊藤議員、三浦議員

1. 高齢化で役員の人材が不足している。
自治会員は30戸の内、役員は9人、神社・寺で2人、区会議員2人で13人。
自治会長をはじめ70代後半が任っている。区会議員が神社係を兼務している。
2. 飯島タイヤから弓道場までの町道の拡幅を。

いいじまち 議会だより モニターのひとこと

令和7年10月発行の第112号 紙面に対するご意見

表紙

- ・飯島町らしい季節の写真と、トピックスが目に飛び込んでくるのでわかりやすいと思った。
- ・表紙の写真に撮影場所を入れた方がよい。
- ・昭和伊南総合病院の建て替えのタイトルは一番大きく書かれており、今月号で1番伝えたい内容ならば、前半のページで特集した方が多くの人に伝わる。

特集ページ

- ・地域あこし協力隊を卒業してからどんな暮らしをされているのかよくわかって楽しい。
- ・地球人ネットワークは、活動内容や想いがよくわかってよかったです。問い合わせ先やSNSなどの情報を載せるなどしたいと思う。
- ・特集ページは2ページ分も必要でしょうか。議会のことをもっと知りたいと思う。

委員会・本会議・全員協議会

- ・「地域力創造プロジェクト」により、町の損害として「200万円弱の持ち出しが判明した」とあるが、私たちの血税（公金）がこんなにも使われていたことにショックを受けた。「過疎ビジネス」につながる

問題だ。

- ・昭和伊南総合病院の建て替え見直しに関心がある。建設資材や人件費の高騰で仕方がないのかもしれないが、再検討して早期に実現してほしい。
- ・問の内容がシンプル過ぎて、伝わりにくい内容もある。
- ・文字ばかりで読む気にならない。

一般質問

- ・町政をただす鋭い質問もあり、（議会の）チェックが効いているところもあると感じる。
- ・高速バストイレを早期に改善してほしい。
- ・記事でグラフが使われていますが、これがすごくわかりやすい。
- ・自治会役員のなり手不足について、集金や回覧など負担が多い。役員手当の改善、役員数が妥当かどうか、自治会の人数により役員人数の見直しなど検討してほしい。
- ・総会後の飲酒。多くの場合、会議の後に酒席があることは疑問を抱く場合もある。
- ・祖父母を前提とした行事設定の質問には同感だ。保育園や学校だけでなく地域の行事な

どでも同様に思う。核家族の子育て世代は、保育園、学校行事と自治会の行事で手一杯ではないか心配だ。

全体をとおして

- ・行政に関心があるが、町の広報紙や議会だよりで知るしかない。議会だよりは、議会の様子がよくわかる。
- ・読みやすい紙面であり続けてもらいたい。

その他

中学校の部活について

- ・冬季の部活時間が短すぎて、大会の練習など思うようにできない。学校側も顧問の先生を筆頭に全力を尽くし考えてくれているが、なかなか思うように話が進まないようだ。せっかく実力のある生徒が沢山いるのもったいない。

防災無線で聞く地名について

- ・最近だと、クマの出没の「うどん坂」「くねだいら工業団地」などと、どこだかわからない。ネットでもわからない。地域の人に聞いてようやくわかった。

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆様に取材協力を
お願いして、町政や議会への意見や感
想を掲載しています。

今回は、「いいじま未来トークサロン」
に登場していただきました。

「まちなかに賑わい」を

エーコープ飯島店閉店から半年が過ぎ、次の店も見つからないのが現状です。

そうした中で、何とか「まちなかに賑わい」を作ろうと声を掛けたところ5名の有志が集まって出来たグループが「いいじま未来トークサロン」です。

その後メンバーが23名に広がり、「飯島に合ったまちづくり」を模索することになりました。

女性7名、男性16名、30代～70代の方々が月2回のペースで会議を開きます。

次の題材を研究していくこうとなりました。

- スーパー閉店以降、特に買い物弱者への対応の研究。
- JR事業としての駅舎の改修・簡素化が現実味を帯びています。
- 駅が「町の顔」として果たす役割や駅前の空洞化を避ける研究。



●飯島駅周辺を対象に「憩いの場」「交流」「賑わい」を生む場づくりの方向性を模索し始めました。より広い皆様の参加を募ります。

●民間主体で始まった取組ですが、事業規模が大きくなるので、実現には行政・議会との連携が欠かせません。官民連携の協力体制をつくること。

●最終的には公設民営の方法も検討します。

メンバー募集

車を使えない人にとって買い物は深刻な生活課題であり、

町のイメージ低下も懸念されます。さらに飯島駅舎の簡素化が現実味を帯び、町の顔が失われかねない状況です。

民間発の取組として始めつつ、将来的には行政とも連携し、町の未来につながる形を模索していきます。

自分流の飯島駅舎を作つてみたい方の参加を広く呼びかけます。駅前の花壇作り、イルミネーション、など色々一緒にやりましょう。

こんな気楽なグループです。
是非ご参加ください。

連絡先は飯島町商工会
電話 0265-86-2162

議会だより 113号



〈問題〉文化館の指定管理者は
特定非営利活動法人
アクターズゼミナール〇〇〇

ヒントは5ページ

正解者3名様にいいちゃん商品券(千円)進呈

(締切は1/31、発表は発送をもってかえさせていただきます)

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見などを
ご記入のうえ、いいちゃんポスト。
QRコードで、飯島町議会事務局
議会だよりクイズ係宛まで



発行責任者／議長 宮脇 寛行 編集委員／◎浜田・○宮下・池上・三浦・荒川・星野

あなたの声を議会だよりに 0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail : iijima-gikai@cek.ne.jp